平成 25 年 第 3 _ 回定例

告2件、同意案1件、章は、9月10日招集され、 専決処分の承認1 同意案1件、意見 報

> 議案1件、 規約の変更1件、

審議し、一般質問を行い同 補正予算4件を 単行

成25年第3回定例会

日閉会しました。

28.4%減の138・7%で、ともに対する割合)は、前年比 ております。 額など債務の標準財政規模 早期健全化基準を下回っ

紙等で行ってまいります。 不足はありません。 道、風力発電)とも、 会計(簡易水道、公共下水 町民への公表は、 資金不足比率は、 町広報 3 特別

·株式会社寿都振興公社第 25期経営状況報告

平成24年度における「ゆ

べき地方債や債務負担行為率(一般会計が将来負担す などが、標準財政規模に占 計の公債費、公営企業会計 める割合) は、前年比2.% への繰出金の公債費相当額 将来負担比 なっております。

159 平成25年11月 都 町 /広報編集委 都町字渡島町140-1 (議会事務局)

_ 0136-62-2511 / F AX 0136-62-3431

4千55人と大幅な減少と10万1千86人と前年度より きましては、入館者数が べつのゆ」の利用状況につ

の落ち込みなどが要因の一 景気低迷に伴う個人消費

付して議会に報告するもの

財政健全化判断比率の

について監査委員の意見を き、平成24年度の財政状況 全化に関する法律に基づ

増の15.7%で、

比率の報告

地方公共団体の財政の健

全化判断比率及び資金不足

▼平成24年度寿都町財政健

状況にありません。

実質公債費比率(一般会

赤字比率はそれぞれ赤字の 実質赤字比率及び連結実質 審

議

た

案

件



9月13日 多くの敬老者の参加のもと、敬老会が開催されました。

状況でありました。 の、その影響を引きずった 推移が上向きになったもの 後期は前年度より利用者の 前期の落ち込みが著しく、 つであり、特徴としては、

利益としては61万円の赤字 り、当期の収支状況は経常 して厳しい状況が続いてお ましては、経営に大きく左 となっております。 右する燃油の高騰が依然と 全般的な経営状況につき

人事案件

◆教育委員会委員の任命の

の任命(新)に同意しまし

48億4千54万6千円とする を追加し、 予算総額に、 132 万 3 千 総額を

委員会委員補欠選挙等に係 石狩・後志海区漁業調整 132万3千円増

同意

· 佐藤

予算(第4号)・・・・・

▼平成25年度一般会計補正

ものです。 ・・・・・・原案可決

|補正の内容

隆一氏(新栄町)

ら、 あります。 箇所が確認されたことか クラック処理を必要とする ろ、一部、新たに劣化及び 再度現場確認を行ったとこ に係る下地処理において、 裏側の外壁補修、塗装工事 追加処理を行うもので

変更後の契約金額 契約の相手方

規約の変更

補正予算

◆北海道後期高齢者医療広

◆平成25年度一般会計補正

国人登録原票の字句を削除 海道後期高齡者医療広域連 廃止されたことに伴い、北 正により、外国人登録法が 域連合規約の変更・・・・ 合規約に規定されている外 ・・・・・・原案可決 住民基本台帳法の一部改 変更するものです。

単行議案

更により、18万9千5百円 請負契約について、設計変 された潮路小学校改修工事 契約の変更・・・原案可決 が増額となるものです。 ◆潮路小学校改修工事請負 平成25年7月17日に議決

設計変更の内容は、校舎

寿都町字矢追町50番地4 7千45万2千円

> するものです。 額を48億7千13万6千円と れ2千53万円を追加し、総 算の総額に歳入歳出それぞ 職員住宅等の解体など、予 予算(第5号)・・原案可決 公営住宅改修事業及び旧

○補正の主なもの

■総務費 職員の退職と新規採用等

旧教職員住宅等解体工事 8278千円の減 570万円の増

災害時避難所通信設備工 160 万円の増

農林水産業費 ホタテ貝養殖施設の再編 整備測量調査、 300万円の増 配置計画

■商工費 オオイタドリの花を主成 分とした化粧試供品の購 入と販路調査

■土木費 10万円の増

「第5回大漁豊漁ほっけ祭り」

10月13日、道の駅みなとま~れ寿都を会場に「第5回

あいにくの雨模様となりましたが、町内外から多くの来

場者が訪れ、「寿都ホッケめし」や「ホッケのちゃんちゃん

大漁豊漁ほっけ祭り」が開催されました。

焼き」などに舌鼓を打っていらっしゃいました。

公営住宅内部改修工事

公営住宅改修工事 (1棟4戸 1千50万円の増 400万円の増

2号)・・・・原案可決 事業特別会計補正予算(第 ◆平成25年度国民健康保険

川島組

川島

一恵

追加し、総額を5億2千53 万2千円とするものです。 ○補正の主なもの 予算総額に43万2千円を

過年度返還金

とするものです。 ・・・・・・・原案可決 特別会計補正予算(第1号) ◆平成25年度介護保険事業 予算総額に55万円を追加 総額を4億2千20万円

国庫支出金等過年度返還 退職者療養給付費交付金 183万6千円の増

219万6千円の増

号)・・・・・原案可決 業特別会計補正予算(第2 ◆平成25年度公共下水道事

とするものです。 し、総額を2億7千30万円 ○補正の主なもの 予算総額に15万円を追加

·公共桝新設工事 150万円の増

○補正の主なもの 介護保険給付準備基金積

国庫支出金等過年度返還 立 金 281万9千円の増 268万1千円の増



詳しいこと は議会事務局へお問 い合わせください。 (TEL 62-2511)

こが聞きたい



第3回定例会での 質問では1名の方から2 項目について質問があり

ておられるでしょうか。

そのことを町長はどう見

幸坂 順子 議員

泊原発再稼動に対する 長の見解につい

防災

のでしょうか。 う問題です。実際はどうな み、電気料金が上がるとい しなければ、 られますが、 また、 町長も心配してお 燃料費がかさ 原発を再稼動

ると、 しかし、 ど、原発関連の費用とな 稼動のための安全対策費な 3号機の減価償却費や、 年に新設・運転開始した泊 が燃料費です。 見ると、 8.9%増となっております。 成20年の申請原価と比較す が、6千14億円で、 年の3か年の平均原価総額 見ますと、平成25年から27 したその大部分が、平成21 北電の値上げ申請内容を 503 億円、 唯一減っているの 原価計算の内訳を 率にすると 原価が増加 前回平

られております。

しかった」などの声が寄せ

も一緒に賛成ということな 再稼動に○なのか」「議会

か」「せめて△にしてほ

おられます。その記事を読

再稼動賛成と答えて

んだ町民から「なぜ町長は

聞のアンケートに、

片岡町

した折に行われた北海道新

泊原発が再稼動の新設を

ました。 安な気持ちで暮らすのでは ません。リスクを抱えて不 ように起きるか予想が付き んが、自然災害はいつどの 幸い大事に至っておりませ 雨水が流れ込んでいます。 通路にも15立方メートルの 電線管を伝って管理区域の 立方メートル浸水、さらに が流入し、非管理区域に170 で、3号機補助建屋に雨水 泊原発でも8月27日の大雨 常事態となっております。 事故評価尺度レベル3の異 と漏れ出しており、国際的 報道でも明らかなよう 高濃度の汚染水が次々

かになりました。 会への信頼の失墜等が明ら 安全委員会及び原子力委員 子力安全・保安院、 策への信頼の失墜並びに原 電力事業者の安全性確保対 話を一変させるとともに、 原発事故は、 解でありますが、福島第一 泊原発再稼動に対する見●町 長 原発の安全神 原子力

い」というものでした。し

猛暑が続いたこの夏

節電の数値目

原

画停電や更なる料金値上げ

住民生活に影響が大き

賛成の理由として、「計

発に頼らなくても、 標もなく過ごしました。

> の立場であります。 件に再稼動することに賛成 保されたと判断された原発 規制委員会で、 審査が行われている原子力 ことが賢明な判断か、 すべての原発を廃炉にする 経済を考えたとき、一挙に と考えますが、現状の日本 事故を教訓に、 については、耐用年数を条 しいところと思います。 ないエネルギー政策が基本 こうしたことから、現在、 たびの福島第一原 安全性が確 悩ま 発

■再質問

電所になります。 泊発電所3号機は一番新し 次という風にいきますと、 年数が過ぎたところから順 えだったと思います。耐用 発の再稼動については、 まで稼動し続けるという発 い発電所なので、一番最後 くことは難しいというお答 済的な面で急になくしてい 町長の今のお答えで、 経 原

長のお考えをお聞かせくだ 渡したいと思いますが、町 るさとを、子どもたちに手 なく、安心して暮らせるふ

1.2兆円のお金がかかってお のは再稼動していなくても 当に一面的で、 燃料の焚き増し分が増 ておりますけど、これは本 原発を停止して、 電気代が上がるという 政府を含めて出され 再生可能 原発という 化 え 石

> これが年間1兆4千%億円 るという計算です。 5千30億円、再生可能エネ かかります。計2兆円かか りする費用ですけれども、 ルギー普及費用、整備した して15年を平均しますと、 化石燃料の焚き増し分と 仮定した数字があります。 て20%まで上げていくと の割合を、 15 年 か 存

の原発に関す再処理費用、 6千郷億円の便益があると ります。差引きしますと うそういう数字が出てお 2兆6千40億円減るとい いうそういう計算になりま れから使用済み核燃料の かかっている運転費用、 原発を止めると、原発に する費用が、 その他諸々

す。 すけれど、 京大の小出裕章助教授で 皆さんもよくご

こにあり、どんな状態なの す。」また廃炉についての 放射能の沼と化していま に滞留し、 は当たり前です。 も、その場しのぎそのもの ましたので、 飛び散っているかもしれな かわからない。 となりますが、そもそもど け落ちた炉心をどうするか 見通しですけれども、 しようもなくなっている。 水壁で地下水が原発敷地内 ため、汚染水が増加するの る限り地下水の混入もある です。「炉心を水で冷却す ついて言っていますけれど 原発の今の汚染水の現状に た方もいると思いますが、 聞」という中で書かれてい 知だと思いますけれど 先日の道新の ますますどう お読みになっ あちこちに 海側の遮



こんな途方もないことが起 ておられます。 思います。」という風に語っ だなんてあり得ないと私は きているのに、まだ原子力 溶融した1、2、3号機の3 のような石棺を、核燃料が なくなる。チェルノブイリ 的に石棺で封じ込めるしか 膨大な被ばくを伴う。最終 と言っていますが、 つ作ることになるのです。 最悪4号機を含めて4 作業は

に質問いたします。 ういう思いを込めて、 場で、これから判断してい う守っていくのかという立 いう点をお考えいただい ておりますので、ぜひそう ろいろなところで実証され ルギーだということも、い にも充分活性化できるエネ 可能エネルギーが、経済的 れていると思います。再生 どう判断するかが、今問わ く、住民に身近な自治体が すが、国の責任だけではな す。国が進めている事業で るのは、自治体の仕事で です。住民の命と安全を守 全・安心とは言えないもの を考えますと、とても安 事故が起きたときのこと りますが、原子力は本当に ただきたいと思います。そ て、町長は地域の住民をど 安全・安心と言われてお 町長

町

思っております。 に越したことはないとは ざいますし、早くなくなる て感じているのは事実でご さというのはみんな共有し 国民私も含めて、原発の怖 というのも含めて、それは まして、その中で再稼動を とには、国民全体安心でき 政策として打ち出さないこ ものが、早くメリハリある か、再稼動なしでなるのか 仮にありきの政策になるの ないというのが基本であり 玉 のエネルギー政策その

う考え方もあります。 いうのは非常に困難だとい とになると、町民を守ると 政を運営していくというこ れる。この削られた中で町 なると、地方交付税が削ら 財政が賄えないという話に 付税で賄われている町で ただ、寿都町は今現在交 国全体の景気が落ちて

■ 質

係は、いまだに北海道です はありません。送電網の関 おいそれとすぐできる話で ますけれども、これだって ギーは、確かに寿都町は 万6千級キロやっており ーと言葉で言っても、 また再生可能エネル いくら再生可能エネル なんの方針も出ていな

> な状況になるには相当な ても、

ず利益を出して、 政策も含めてやっておりま の力を増していくかという かにお金に換えてこの地域 から私は、地域の資源をい はありますけれども、です という今の構造自体に問題 寿都町も生きていかれない めた税金で賄わなければ、 というものを、大企業がま 時間がかかる。 その中でやはり日本経済 現実地域おこしにし 法人税含

> ございませんので、ご理解 安心を、経済のためにない ります。決して住民の安全・ ないのかなという見解であ がないのかなと、やむを得 れたものについては、仕方 判断したときには、再稼動 ませんので、私は相対的に うだけの状況になっており がしろにするという考えは はあくまでも安全と確認さ 国からの交付税を賄

幸坂 順子

防災 防災避難訓練について

ていただくよう、進めてい だけたくさんの人に参加し の方にも声をかけ、できる 集していますが、要援護者 います。訓練の参加者を募 が、大変意義あることと思 難訓練が行われる予定です 今年度は地域別に4回避 問

Ł, 常の暮らしの中で不安なこ ループにするなどして、日 いただくだけではなく、グ 行われますが、話を聞いて ただきたいと思います。 避難所では避難講習会が 助けて欲しいこと、 自

るところであり、

のほどよろしくお願い申

上げたいと存じます。

と思います。 訓練にしていく必要がある 身ではなく、住民参加型の 交換できる場を作り、受け 分のできることなど、 意見

主体は道なのですが、 はありませんでした。実施 りでは、とても原子力災害 された点はあるのでしょう い内容のようですが、改善 が、1回目と何も変わらな けての原子力防災避難訓練 全に避難させられるもので が起きたときに、住民を安 か。1回目の訓練を見た限 は、昨年に続き2回目です また、磯谷から美谷にか 計画

> 思いますが、その点での町 うか。住民が安全に避難で 長のお考えを伺います。 泊の再稼動はあり得ないと きる体制ができない限り、 など行われているのでしょ を作るうえで町と意見交換

としております。 を講習会で浸透させる計画 で、こうした意識付けなど 眼に置いて実施するもの がある場合は、直ちに安全 おいて、「津波が来る恐れ 災避難訓練は、沿岸地域に な場所に逃げる」ことを主 本年度、 町が実施する防

防災体制の確立を図ること 習会や、各種啓発による防 あり、避難訓練における講 の地域社会と協力してお互 ることが何より重要と考え 防災訓練を繰り返し実施す 避難ができるよう、原子力 施予定ですが、円滑な住民 る原子力防災訓練は、昨年 が肝要と考える次第です。 援体制の促進などにより、 会の協力による要援護者支 災意識の向上のほか、町内 いを助け合うことが重要で け合いは、隣人、町内会等 災害時における地域の助 また、今年で2回目とな 退避行動を主体に実

す 加える予定となっておりま 練参加や町有バスの運行も UPZ圏内の福祉施設 めの訓

組んでいるところでありま り、北海道と関係自治体で 次計画により広域避難訓練 のある訓練となるよう取り 協議しながら、より実効性 を盛り込むなどとしてお ターの設置運営訓練や、 適用したオフサイトセン に応じた避難の判断基準を では、原子力施設等の状況 さらに、関係自治体全体

おりであり、北海道や関係 めてまいりたいと存じま なる住民の安全性確保に努 自治体等と連携のうえ、更 は、1点目でお答えしたと 泊原発の再稼動について



原子力防災避難訓練 10月8日実施

総務常任委員会所管事務調査を実施

第3回定例会において承認された、総務常任委員会の町内所管事務調査を9月26日に実施しました。

今年度は、町内各小中学校の環境や運営・経営状況についての現地調査を行いました。

◆調査事項

· 寿都小学校 · 潮路小学校 · 寿都中学校



寿都小学校



潮路小学校

産業常任委員会所管事務調査を実施

第3回定例会において承認された、産業常任委員会の町内所管事務調査を10月1日に開催し、平成24年度実施の町内土木建築工事4ヶ所と施肥製造施設(磯焼け対策)について、町担当者出席のもと、現地において調査を行いました。

現地調査では、施設に対する活用方法などについて積極的な質疑応答が交わされました。

◆調査箇所

- · 磯谷地区避難施設設置工事 · 町道維持補修工事
- ・寿都町民プール幼児用プール改修工事
- ・山道島牧通り線改良工事・施肥製造施設(磯焼け対策)



寿都町民プール幼児用プール改修工事



施肥製造施設

8月

- 20日 例月出納検査 (木村親志監査委員)
- 21日 後志町村議会議長会 議長会議 (倶知安町 小西議長) 後志町村議会議員研修会 (倶知安町 議員多数)
- 22日 全員協議会
- 24日 湯出神社宵宮祭 (沢村副議長)

9月

5日 議会運営委員会

(石澤委員長、木村親志副委員長、中里委員、沢村委員、幸坂委員、小西議長)

- 8日 寿都消防団消防演習 (小西議長、他議員多数)
- 10日 平成25年第3回 定例会・全員協議会 (全議員)
- 13日 寿都町敬老会 (小西議長、他議員多数)
- 19日 例月出納検査 (木村親志監査委員)
- 24日 参議院議員 伊達忠一政経セミナー (小西議長)
- 26日 総務常任委員会町内所管事務調査

(中里委員長、木村眞男副委員長、石澤委員、沢村委員、越前谷委員)

10月

1日 産業常任委員会町内所管事務調査

(山本委員長、木村眞男副委員長、沢村委員、木村親志委員、越前谷委員、幸坂委員)

- 3日~4日 平成24年度各会計決算審査 (木村親志監査委員)
 - 15日 国道229号 余市・岩内・島牧間整備促進期成会 総会及び要望会 (余市町・小樽市・札幌市 小西議長)
 - 20日 潮路小学校学芸会 (小西議長、他議員多数)
 - 26日 自由民主党北海道政経セミナー (札幌市 小西議長)
 - 28日 例月出納検査 (木村親志監査委員)
 - 29日 後志町村議会議長会 役員会·議長会議 (札幌市 小西議長)



湯出神社宵宮祭



寿都消防団消防演習



寿都町敬老会